

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-135731

(P2004-135731A)

(43) 公開日 平成16年5月13日(2004.5.13)

(51) Int. Cl. <sup>7</sup>	F I	テーマコード (参考)
A 6 3 B 23/04	A 6 3 B 23/04	C
A 6 1 H 1/02	A 6 3 B 23/04	Z
A 6 3 B 21/02	A 6 1 H 1/02	N
	A 6 3 B 21/02	

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号	特願2002-301380 (P2002-301380)	(71) 出願人	302056022
(22) 出願日	平成14年10月16日 (2002.10.16)		大槻 信行
			京都府綾部市今田町下開47番地
		(72) 発明者	大槻 信行
			京都府綾部市今田町下開47番地

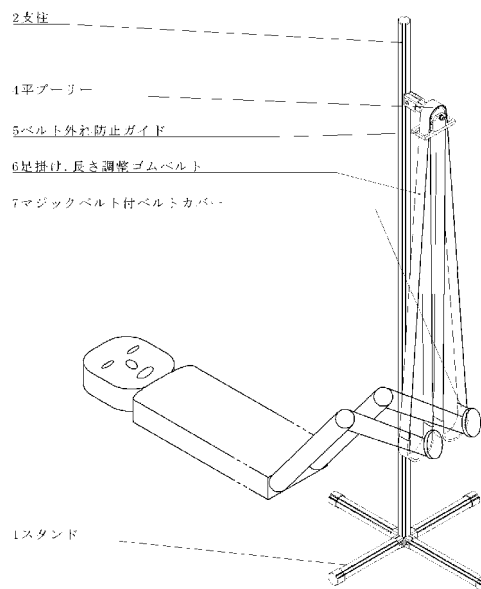
(54) 【発明の名称】 足の疲れを軽減する器具

(57) 【要約】

【課題】足の疲れている人への軽減器具で、器具が軽く移動が簡単で、気軽に使用でき、違和感、副作用がなく足の疲れを軽減できることを可能にする。

【解決手段】ループ状にした平ゴムベルトを重ねて平プーリーに掛け、下がった平ゴムベルトの左右U字になったところに足を掛けて、吊るした状態で静止、揺さ振り運動、左右足の叩き運動、漕ぐ運動、上下運動、前後運動等をしてゴムの伸縮性を利用して足の疲れを軽減する健康器具です。又使用時間は足に接触する受け面積で変わりますが約15分くらいを目安に使用します。

【選択図】 図4



## 【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】

足の疲れた人が仰向けに寝て、ループ状にした平ゴムベルトを重ねて平プーリーに掛け、下がった左右平ゴムベルトのU字部に足を掛け、静止又は動作をして、ゴムの伸縮性を利用したところを特徴とする、足の疲れを軽減する健康器具。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

## 【発明が属する技術分野】

本発明は、足の疲れを軽減する健康器具に関するものである。

## 【0002】

## 【従来技術】

特開2000-167082号足吊り式健康増進具、登録実用新案第3024166号健康器具、等が提案されていますがリングに足が入れ難く、又ゴム以外のロープでは伸縮作用が無く違和感がある。

## 【0003】

電動足モミ機等も使用していると、水ぶくれ、かゆみ等の副作用があり健康器具としてふさわしくない。

## 【0004】

## 【発明が解決しようとする課題】

解決しようとする問題点は、手軽に器具の移動ができ、使用後の副作用が無く、簡単な運動で足の疲れを軽減できるようにする。

## 【0005】

## 【課題を解決するための手段】

本発明は、スタンドに支柱を立て、上下調整支持具に平プーリー及びベルト外れ防止ガイドを付け、一本の平ゴムベルトを金具でループ状にした平ゴムベルトを重ねて平プーリーに掛け、下がった平ゴムベルトの左右U字に成ったところに布地等でカバーを付けて、その部分に足を入れて、仰向けに寝た状態で足を吊るしゴムの伸縮作用を利用して、静止又は動作をして足の疲れを軽減することを特徴とする。

## 【0006】

## 【発明の実施の形態】

スタンド1に支柱2を立て、上下調整支持具3に平プーリー4及びベルト外れ防止ガイド5を付け、一本の平ゴムベルトを金具でループ状にした平ゴムベルト6を重ねて平プーリー4に掛け、下がった平ゴムベルトの左右U字に成ったところに布地等でカバー7を付けて、その部分に足を入れて、仰向けに寝た状態で足を吊るしゴムの伸縮作用を利用して、静止又は動作をして足の疲れを軽減する。

## 【0007】

リクライニングシート又は長椅子に腰を掛け、平ゴムベルトの長さで上下調整支持具を調整して、平ゴムベルトに足を掛け静止又は動作をする。

## 【0008】

平地でも上下調整支持具を調整して、平ゴムベルトに足を掛け静止又は動作ができます。

## 【0009】

足の吊るす範囲は、足首からふくらはぎの間である。

## 【0010】

吊り足を静止状態で持続したい時は、平ゴムベルトを平プーリーに掛けずに、上下調整支持具に平ゴムベルトを掛けてゴムの伸縮作用のみ利用します。

## 【0011】

ベルトカバー部を幅広のソフト樹脂等7-1を平ゴムベルト6にマジックベルト等7-2で止め付け、その上に足を乗せて静止又は動作をすると長時間持続可能になります。

## 【0012】

体重80キログラム以上の人は、支柱の前後に平ゴムベルトを装着すると安全な運動がで

10

20

30

40

50

きます。

【 0 0 1 3 】

【 発 明 の 効 果 】

足を平ゴムベルトに吊るし停止、ゆさぶり、左右足の叩き、漕ぐ、上下、前後運動等をする  
ると足が楽になります。

【 図 面 の 簡 単 な 説 明 】

【 図 1 】 足の疲れを軽減する器具の実施の形態を示す平面図である。

【 図 2 】 足の疲れを軽減する器具の実施の形態を示す側面図である。

【 図 3 】 足の疲れを軽減する器具の実施の形態を示す背面図である。

【 図 4 】 足の疲れを軽減する器具の実施の形態を示す立体図である。

【 図 5 】 足の疲れを軽減する器具のベルトカバー部の実施の形態を示す立体図である。

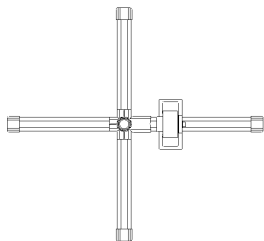
【 符 号 の 説 明 】

- 1     スタンド
- 2     支柱
- 3     上下調整支持具
- 4     平プーリー
- 5     ベルト外れ防止ガイド
- 6     足掛け長さ調整ゴムベルト
- 7 - 1     幅広ソフト樹脂
- 7 - 2     マジックベルト

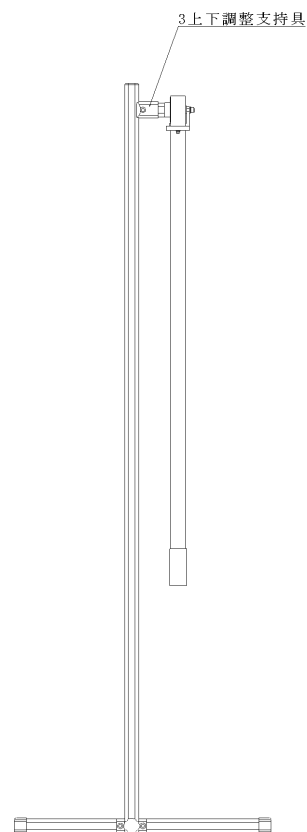
10

20

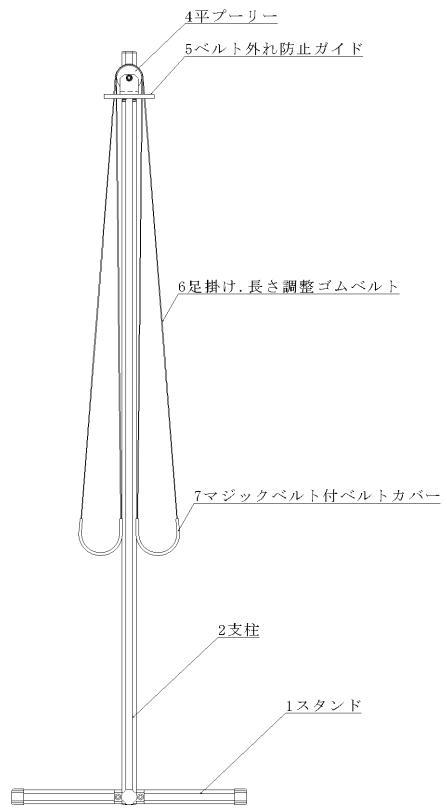
【 図 1 】



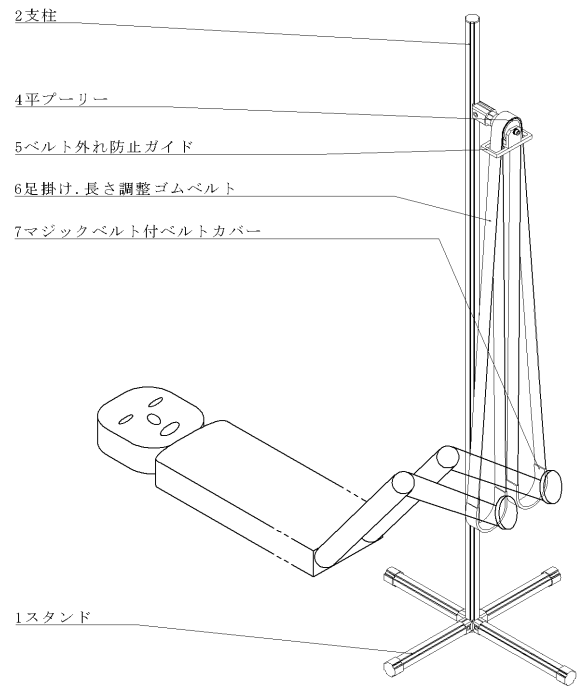
【 図 2 】



【 図 3 】



【 図 4 】



【 図 5 】

